

教養ゼミ		演習	講師 清家 洋
科目カテゴリー	救急救命士コースの必修科目	科目ナンバリング	13130201

1. テーマ

救急医療，救急・救助，災害対応，その他救急救命士にかかわりのある幅広いテーマを取り扱う。

2. ゼミのねらい・概要

救急救命士としてのキャリアデザインを考える。また，救急救命士国家試験受験に向けた準備を進める。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス（授業の進め方）	9. 国家試験対策①（必修問題への対策）
2. 学力測定	10. 国家試験対策②（通常問題への対策）
3. 国家試験，就職試験，卒業研究に向けた心構え	11. 学修・就職に関する個別指導④（学生 10～12 名）
4. 消防における救急活動等の実際	12. 学修・就職に関する個別指導⑤（学生 10～12 名）
5. 学修・就職に関する個別指導①（学生 10～12 名）	13. 学修・就職に関する個別指導⑥（学生 10～12 名）
6. 学修・就職に関する個別指導②（学生 10～12 名）	14. 国家試験模試①（必修問題：50 問）
7. 学修・就職に関する個別指導③（学生 10～12 名）	15. 国家試験模試②（通常問題：50 問）
8. 中間試験	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習・復習，中間試験・国家試験模試①②に向けた学習に，週 14 時間以上を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により，個別または授業中の講義を通じて行う。

6. 授業における学修の到達目標

救急救命士としてのキャリアデザインを考え，将来の目標を明確化する。また，救急救命士国家試験受験に向けた基礎を築く。

7. 成績評価の方法・基準

中間試験の結果（30%），国家試験模試の結果（50%）により成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

救急救命士国家試験対策出題分野別国試問題・解説集 A・B 問題編（2025 年版）（著：小関一英，晴れ書房）
救急救命士国家試験対策出題分野別国試問題・解説集 C・D 問題編（2025 年版）（著：小関一英，晴れ書房）

9. 受講上の留意事項

3 分の 1 以上を欠席した場合は不合格とする。また，中間試験の得点率が 55%未満の場合，国家試験模試①の合計得点率が 55%未満の場合，国家試験模試②の合計得点率が 45%未満の場合は，それぞれ翌週に，別問題で構成する追加試験・模試（問題の出題分野は同一）を行い，この結果において前記の基準に達しない場合は不合格とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は，公的機関等での実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。